第15回 AIT テクノサロン

AITテクノサロンは、愛知工業大学教員の研究成果・シーズをご紹介し、地域の方々との交流の場を提供するものです。
第15回は「AI」をテーマに、話題提供いたします。

Topic :

ＡＩ技術がもたらす「ものづくり」の進化と展望

愛知工業大学　自由ヶ丘キャンパス
名古屋市千種区自由ヶ丘2-49-2
地下鉄名城線「自由ヶ丘駅」下車　徒歩1分
※公共交通機関をご利用ください。

2025年12月17日（水）

13時30分 ～ 17時00分

12月15日（月）までに、二次元コード又はURLからフォームへ進みお申込みください。
メール（so-kenjimu@aitech.ac.jp）にてお申込みの場合は、お名前及びご所属をお知らせください。

SCAN HERE

https://form.qubo.jp/technosalon15

主催　愛知工業大学総合技術研究所
共催　公益財団法人名古屋産業科学研究所
協賛　株式会社大垣共立銀行、豊田信用金庫、株式会社名古屋銀行

THE SPEAKER LINEUP

13時30分～
徳久 良子 情報科学部情報科学科 教授

生成AIからAIエージェントへ：生成AIの進化と展望

2022年にChatGPTが登場して以来、生成AIは急速に進化を遂げ、文章生成やプログラミング支援の枠を超えて多様なタスクに取り組む「AIエージェント」へと発展しつつあります。本講演では、生成AIからAIエージェントに至る最近のトレンドを振り返り、その意義や応用可能性について紹介します。

14時00分～
岩月 栄治 工学部社会基盤学科 教授

社会基盤インフラに関する施工・維持管理などに関わるAI等の活用について
～コンクリート製電柱の劣化診断装置の開発（分野横断研究）～

建設業界で大きなテーマとなっている「人材不足」と「技術の伝承」。これを解決するための一つとしてAIやDXの活用が進められています。また、インフラの点検においては、専門的知識と経験による診断から、だれでも同じ診断結果が得られる機器の開発が進められています。本講演では、建設業界のAI活用の方向性と、電柱の診断装置の開発状況を示します。

14時30分～
山本 義幸 工学部社会基盤学科 教授

社会基盤への人工知能の適用事例

感情価の学習モデルによる景観の定量評価、生成モデルを利用した地すべり地形の推論や歩道橋の色彩変換、道路や鉄道分野での物体検出モデルの適用事例などについて紹介します。

15時10分～
野中 尋史 経営学部経営学科 教授

オルタナティブデータをベースとするAIによる経営支援ツールの開発

本研究室では特許・衛星データ等（オルタナティブデータ）をAI・統計モデルで解析することで、企業の技術連携を支援する「テクノロジーマッチング」やリアルタイムで経済状況を可視化する「経済体温計」等の経営をサポートするツールの開発に取り組んでいます。それらの研究成果についてご説明します。

15時40分～
内種 岳詞 情報科学部情報科学科 准教授

進化計算による最適化技術とその周辺

進化計算は評価関数に適した入力を探索する確率的最適化手法である。本講演では、ものづくりやデザイン、社会施策などに用いられる評価関数の分類を通じ、生成AIとの違いや進化計算の価値と今後を語る。

16時15分～
意見交換会（軽食による懇親会）

AIT 愛知工業大学 総合技術研究所
〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247
0565-48-8121（内線1400）
so-kenjimu@aitech.ac.jp